



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タクミナ

コード番号 6322 URL <http://www.taocmina.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田信彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 吉田裕

TEL 06-6208-3971

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,379	—	△51	—	△40	—	△29	—
26年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 14百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△4.76	—
26年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	8,037	4,579	56.9	734.19
26年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 4,573百万円 26年3月期 1百万円

(注) 平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期の数値は記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	23.00	23.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	10.00	—	13.00	23.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,320	—	160	—	160	—	100	—	16.05
通期	7,240	—	600	—	600	—	370	—	59.39

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	6,440,450 株	26年3月期	6,440,450 株
27年3月期1Q	210,616 株	26年3月期	210,740 株
27年3月期1Q	6,227,625 株	26年3月期1Q	6,217,537 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動による景気減速が懸念されたものの、政府の景気対策等により影響は限定的な範囲に収まりつつあり、継続的な円安による輸出採算の改善、企業の設備投資意欲の向上、雇用及び所得環境の改善等により緩やかながらも回復基調で推移しました。

こうした状況のもと、当社グループにおきましても、前期末の駆け込み需要の反動が見られ、売上高は13億79百万円に留まりましたが、第2四半期に向けて引き合い数は増加しています。

利益面につきましては、粗利率の低下に加えて、米国子会社の立ち上げ費用等が加わり、営業損失51百万円、経常損失40百万円、四半期純損失は29百万円となりました。

主な品目別の状況は、定量ポンプにおいては、国内市場は、駆け込み需要の反動もあり、4月及び5月の動きが悪く、特に化学・製鉄・製紙業界の落ち込みが影響しました。一方、プラント向けは、好調で、なかでも船舶用水処理ユニット向けは、前期からの好調を維持し、計画通り推移しています。電気・電子材料分野の動きも良く、業界に関連する機械メーカーの業績が好調で、「スムーズフローポンプ(高精度ダイヤフラムポンプ)」の受注にも好影響が出ています。

また、海外市場では、東南アジア地区が好調のほか、韓国の展示会「KOREA CHEM」に初出展し、リチウムイオン電池製造プロセス用スムーズフローポンプの大口受注を獲得するなど、市場拡大に向け良いスタートを切ることができました。

ケミカル移送ポンプは、前年同四半期の製鉄プラント向けのような大口物件が無く、数字を落としました。しかし、前期から製鉄業界以外への営業活動を強化、継続してきた結果、引合いの数が増えたことにより、受注残高は増加しました。

計測機器・装置は、残留塩素計の大口ユーザーである濾過機メーカーの落ち込み分をカバーできておらず、数字を落としましたが、第2四半期に向けて大口装置の引き合いが見えております。

品目別販売実績は次のとおりであります。

## 【品目別販売実績】

品目別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
	金額	構成比
	百万円	%
定 量 ポ ン プ	796	57.8
ケミカル移送ポンプ	126	9.2
計 測 機 器 ・ 装 置	205	14.9
流 体 機 器	66	4.8
ケミカルタンク	116	8.4
そ の 他	67	4.9
合 計	1,379	100.0

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は80億37百万円となりました。

流動資産の残高は44億59百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金8億76百万円、売上債権27億72百万円、棚卸資産6億74百万円であります。

固定資産の残高は35億78百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産19億98百万円、無形固定資産53百万円、投資その他の資産15億26百万円であります。

負債につきましては34億58百万円となりました。

流動負債の残高は21億25百万円となりました。主な内訳は、仕入債務13億34百万円、短期借入金3億47百万円、賞与引当金96百万円であります。

固定負債の残高は13億32百万円となりました。主な内訳は、長期借入金5億80百万円、退職給付に係る負債5億17百万円であります。

純資産につきましては45億79百万円となりました。主な内訳は、資本金8億92百万円、資本剰余金7億33百万円、利益剰余金28億70百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は56.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月8日の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結累計期間より、子会社の重要性が増したため、連結決算による開示に変更しております。

これに伴い、TACMINA USA CORPORATION及びTACMINA KOREA CO., LTD. を連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	876,463
受取手形及び売掛金	2,772,197
商品及び製品	61,342
仕掛品	2,013
原材料及び貯蔵品	611,093
その他	138,618
貸倒引当金	△2,218
流動資産合計	4,459,510
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	1,162,612
その他(純額)	835,418
有形固定資産合計	1,998,030
無形固定資産	
その他	53,658
無形固定資産合計	53,658
投資その他の資産	
投資有価証券	1,131,295
その他	396,381
貸倒引当金	△1,275
投資その他の資産合計	1,526,400
固定資産合計	3,578,090
資産合計	8,037,600
<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,334,629
短期借入金	347,112
賞与引当金	96,612
その他	347,203
流動負債合計	2,125,556
固定負債	
長期借入金	580,108
退職給付に係る負債	517,271
その他	235,117
固定負債合計	1,332,496
負債合計	3,458,053
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	892,998
資本剰余金	733,479
利益剰余金	2,870,373
自己株式	△105,141
株主資本合計	4,391,710
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	216,887
土地再評価差額金	△2,374
為替換算調整勘定	5,039
退職給付に係る調整累計額	△37,404
その他の包括利益累計額合計	182,147
新株予約権	5,688
純資産合計	4,579,547
負債純資産合計	8,037,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,379,985
売上原価	845,661
売上総利益	534,324
販売費及び一般管理費	585,791
営業損失(△)	△51,467
営業外収益	
受取利息	2,318
受取配当金	4,690
投資有価証券売却益	3,255
持分法による投資利益	814
為替差益	342
その他	3,470
営業外収益合計	14,890
営業外費用	
支払利息	2,466
売上割引	1,338
その他	0
営業外費用合計	3,805
経常損失(△)	△40,382
税金等調整前四半期純損失(△)	△40,382
法人税等	△10,739
四半期純損失(△)	△29,642

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	△29,642
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	42,805
為替換算調整勘定	539
退職給付に係る調整額	1,277
その他の包括利益合計	44,622
四半期包括利益	14,979
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	14,979



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。